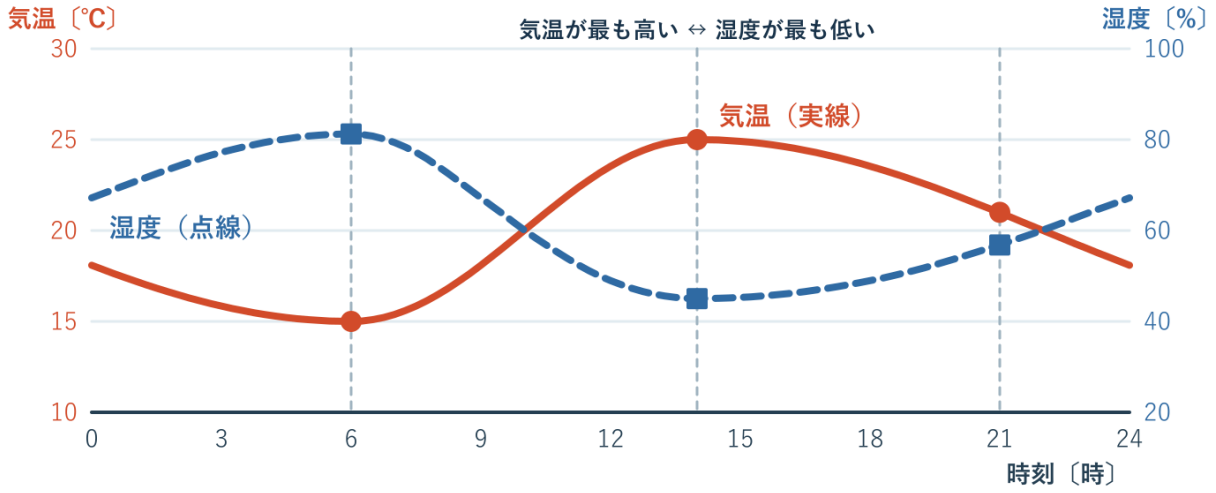
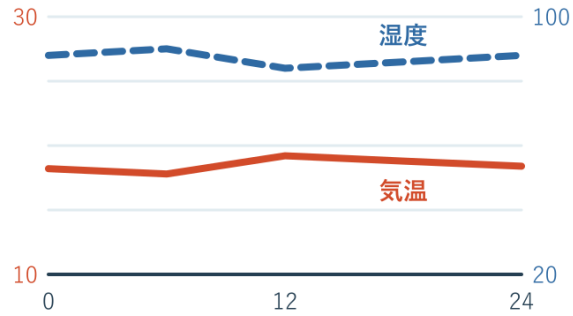
晴れの日の気温と湿度が逆に動くわけ

晴れた日に、気温が上がると湿度が下がるのはなぜだろう

晴れた日の気温と湿度（模式）

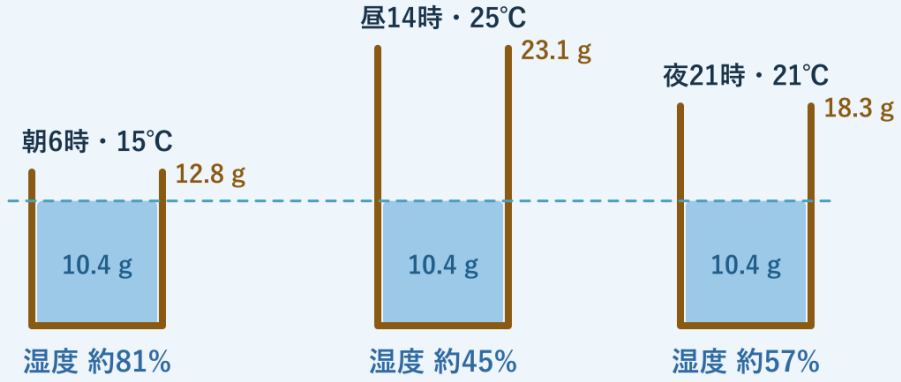


くもりや雨の日（模式）



日ざしが弱く、気温の変化が小さいので、
湿度の変化も小さい（湿度は高め）。

コップのモデルで考える（コップ＝飽和水蒸気量、中の水＝水蒸気量）



水蒸気量は1日の中でほぼ同じ（10.4 g）
とすると、湿度＝10.4÷飽和水蒸気量×100。

気温が上がる → コップが大きくなる
→ 中の水の割合が小さい → 湿度が下がる

だから晴れた日は、気温と湿度のグラフが逆の形になる。

※ グラフは模式で、実測値ではない。水蒸気量は空気1 m^3あたり。飽和水蒸気量は小数第1位までのおよその値。